

今年は梅雨でも散歩に行ける事が多くて、嬉しい誤算・・・

雨上がりには水たまりに入って遊ぶことも多く、ご迷惑おかけしています。

先日、れいくんが水たまりの中でジャンプした際にできた泡を見て「水たまりに風船がある!」と大発見をしたように言ったそうです。なんと豊かなやさしい発想だろうと感心しました。

そんな感性も育てるべく、今しかできない経験を大事にしているたねの保育を、日々の写真などでご理解いただいていると思います。

さて、今月は水!みず!水あそびを本格開始します。

体温などの健康チェックとコドモンでのチェックのご協力をお願いします。

～7・8月の予定～

7月1日(木)音で遊ぼう	7日(水)セタ・ひろば	8日(木)作って遊ぼう
15日(木)体で遊ぼう	20日(火)1F身体測定	21日(水)2F身体測定
8月6日(金)職員会議	16日(月)～保育実習	24日(火)1F身体測定
25日(水)2F身体測定		

～保健だより～

待ちに待ったプールの季節になりました。

昨年度はプール遊びが出来なかったのが、子ども達だけでなく先生たちも楽しみにしています。

大きいプールも用意したので、思う存分楽しみたいと思います。その為には・・・

プールの時に注意する事

- ① 冷たい物の食べすぎに注意し、便のチェックをしましょう
- ② 早寝早起きをして、寝不足にならないようにしましょう
- ③ 水いぼやとびひがないかの皮膚のチェックをしましょう
- ④ 爪を頻繁に切って清潔にしましょう

夏に多い感染症

- ① ヘルパンギーナ・・・高熱、喉の痛み、口内炎
- ② 手足口病・・・手の平、足の裏、口の中に水泡が出来、発熱する事も
- ③ プール熱・・・高熱、喉の痛み、目の充血痒み
- ④ 流行性角結膜炎・・・目の腫れ、充血、目やに

～21世紀のグローバルな社会を生きていく子ども達に育みたい力～

- ・想像し、思い、つくり上げる力
- ・今を存分に生きる力
- ・インクルージョンを目指す力



0 歳児、1 歳児低月齢

【生活のねらい】

- ・0 歳児 ゆったりと安心できる環境で元気に過ごす 沐浴で汗を流し気持ち良く過ごす
 - ・1 歳児 着脱の際に保育者の手助けの元、自分でも手を袖に通そうとしたり、ズボンに足を入れようとしたりする
- 園生活に慣れ、興味のある物に意欲的に手を伸ばして遊び、活発になってきました。散歩先でも行動範囲が広がって自然に触れたり、体を動かして遊びを楽しんでいます。少しずつ友達への興味、関心も強くなってきて友達の言動を真似てみたり、一緒に遊びをしてみたり、友達の遊んでいる姿を見て笑ったりと「楽しい」という気持ちを共有する場面が増えてきました。また6月に入り雨で保育室内で過ごす時間も増えて絵具を使って表現することを楽しんだり、小麦粉粘土をして感触遊びも楽しんでいます。これからさらに暑くなり体調が崩れる事もあると思いますが、水分補給をしっかりとって体調管理に気を付けながら過ごしていきたいと思っています。



1 歳高月

【生活のねらい】 保育士と一緒にズボンの着脱をしてみよう (ズボンに足を通したり上げ下げをやる)

6月は感触遊びをテーマに様々な素材に触れ合い体験を深めました。身近な砂利や泥をはじめミミズ、バッタなど自然の生き物。また梅やサクランゴといった季節の植物にも沢山触れました。ツルツル、ザラザラなど手触りや感触を味わい子ども達も積極的に観察し触りに行く姿が多く見られました。



2 歳児

【生活のねらい】 保育者と一緒に服の裏返しを直してみる

雨が多くなる6月。保育室でも楽しめるように感触遊びを多く取り組みました。高野豆腐遊びでは最初は硬い豆腐が少しずつ水を足していくと柔らかくなり、沢山水を含んだ豆腐を手で絞ってみると水がポタポタ垂れたり、手でもちぎれるようになりました。食紅を使って色を付けると豆腐にも色が付く事、そして黄色と赤を混ぜると「オレンジ!」赤と青を混ぜると「紫!」と色の変化や素材の変化を直に感じ皆目を輝かせ楽しんでいました。雨降り散歩では水溜まりにダイブ♪♪走って水しぶきを上げて喜んでみたり、水溜まりが繋がっている所を線路に見立て電車ごっこをしました。晴れた日はお散歩へ!天神平で見つけた梅は黄色く色づき触って柔らかい事に気が付きました。梅の皮を剥き種まで取り出してみると「手がべとべとする!ジャムみたい」梅一つで遊びが変化する子ども達。自分で考えて遊びを広げられるようになりました。7月はいよいよ水遊び、プールもスタート!水の変化なども感じながら楽しみたいと思います。



3, 4 歳児

【生活のねらい】 3 歳児 夏の過ごし方を知る (自分で水分補給や休息をとるようにする)

4 歳児 夏の生活の仕方を知り、身の回りを清潔にしようとする

(汗をかいたらタオルで拭いたり着替えるなど自分で調節する)

先月に引き続き「泥」に着目し泥遊びをしました!

泥の存在が身近に感じてきたため、自ら「裸足になりたい」と意欲的に参加する姿が増えました。

また泥の感触を楽しむだけでなく、どこかの場所の砂や土を使えば上手く泥団子が作れるのか力加減も考えられる姿が見られました。